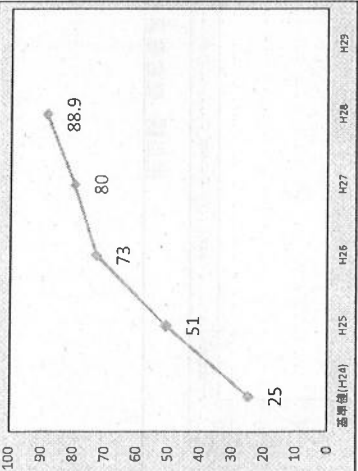
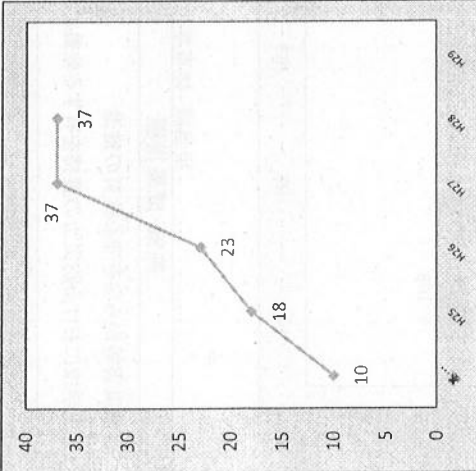
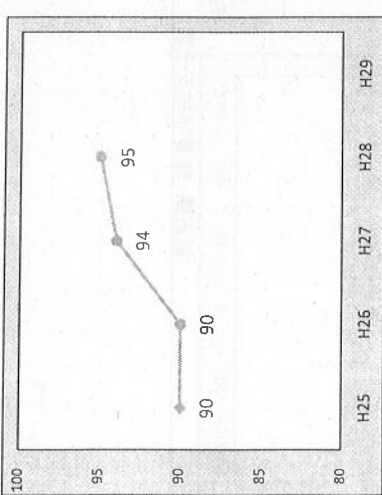
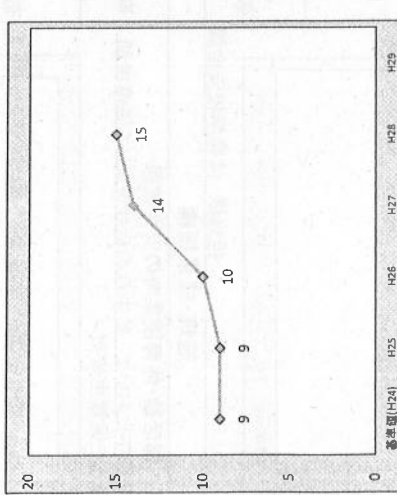


番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
82	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害から命を守る教育環境の整備 県立学校避難所施設強化・充実事業の実施校 (事業着手校)</p>  <p>標準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 25 51 73 80 88.9 95</p> <p>事業着手校</p>	<p>取組状況 (H28年度 分)</p>	<p>事業目的</p> <p>東日本大震災の教訓により、中核的な避難所となる県立学校において、避難所としての安全性とライフラインを確保し、避難生活をサポートする資機材の整備を行う。</p> <p>H28年度は、城西高校など10校で、災害時の非常用電源確保のため、太陽光発電装置と蓄電池を設置した。また、避難者のQOLを向上のため「簡易型トイレ」や「アラブ・ラグマット」などの防災用備蓄品を40校で購入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>51</td> <td>73</td> <td>80</td> <td>88.9</td> <td></td> <td>108.4%</td> <td>82</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 県立学校45校のうち40校において整備に着手し、着実に避難所機能の強化・充実を進めている。 (課題) 引き続き計画的に整備を進める必要がある。</p> <p>今後、引き続き避難所機能の向上を図るため、「地震時解錠装置付き鍵ボックス」や「ヘリサイン」による避難場所の安全性の確保、「ポータブル発電機」設置によるライフラインの確保等に取り組み、H30年度までには県立学校45校全てにおいて避難所としての整備を行う。</p>	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	25	51	73	80	88.9		108.4%	82	95
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
25	51	73	80	88.9		108.4%	82	95														
83	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>担当課 施設整備課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>自然災害等から命を守る教育の推進 県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計)</p>  <p>標準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 10 18 23 37 37 37</p> <p>(単位：校)</p>	<p>取組状況 (H28年度 分)</p>	<p>事業目的</p> <p>県立高等学校・中学校に「防災クラブ」を置き、防災ボランティア活動や地域と連携した防災活動を推進するとともに、避難所支援ができる知識や技術を習得することで、地域防災の即戦力となる人材を育成する。</p> <p>全ての県立高等学校と県立中学校に防災クラブを設置し、地域を巻き込んだ防災活動や高齢者宅での家具転倒防止器具の設置等、将来の防災の担い手を育成すべく、地域や学校の状況に応じた取組が行われている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>37</td> <td>37</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>全県立中学校・高校に設置</td> <td>全県立中学校・高校に設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 全ての県立高等学校34校に「防災クラブ」を設置し、防災活動を通して地域と連携した防災ボランティア活動に取り組むなど、将来の防災の担い手の育成をめざした活動が行われている。</p> <p>(課題) 全県立高等学校に設置された「防災クラブ」の防災力を高めるため、アイデアと行動力を生かした防災ボランティア活動を校内外で展開する、「防災クラブ」の育成が必要である。</p> <p>地域と連携した避難訓練を推進するとともに、各学校の特色を生かした学校防災ボランティア活動を展開し、地域防災の支援側として参画する。さらに、「防災クラブ」間で交流し、活動を全県下に広げていくことを目標とする。また、市町村立中学校にも「防災クラブ」の設置を広げ、地域に根ざした防災活動を展開していく。</p> <p>被災後の学校再開に向けた教材等の復旧や青空教室等の応急教育の支援については、元教員の支援を得て、円滑な再開を図るために人材登録を進めていく。</p>	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	10	18	23	37	37		100.0%	全県立中学校・高校に設置	全県立中学校・高校に設置
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
10	18	23	37	37		100.0%	全県立中学校・高校に設置	全県立中学校・高校に設置														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
84	安全・安心なとくしまの学校づくり	自然災害等から命を守る教育の推進 高校生防災士養成数(累計)	<p><b>事業目的</b>            地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、現役高校生を「防災士」として育成するとともに活用を図り、地域の関係機関や自主防災組織との協働を活性化することにより、地域防災力の強化を図る。</p> <p><b>取組状況(H28年度分)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>108</td> <td>239</td> <td></td> <td>108.6%</td> <td>220</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p><b>評価</b>            (成果)「防災士」資格を取得した高校生を育成することにより、「防災クラブ」を活動拠点として、学校防災の牽引役、地域防災の若い活力として活動した。            (課題)「防災クラブ」の活動を継続させるとともに、地域の関係機関や自主防災組織との協働を活性化させるため、地域防災のリーダーとなる現役高校生を対象とした「防災士」を計画的に育成する必要がある。</p> <p><b>今後の取組方針</b>            継続して「防災士」資格を取得した高校生を育成することにより、全ての県立高等学校・県立中学校に設置した「防災クラブ」を活動の拠点とするとともに、地域での防災ボランティア活動を展開することで、学校防災の牽引役、地域防災の若い活力として資格取得で身につけた知識と技能の実践を図り、防災ボランティア活動への積極的な参加を進めている。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	-	-	108	239		108.6%	220	360
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
0	-	-	108	239		108.6%	220	360													
85	安全・安心なとくしまの学校づくり	自然災害等から命を守る教育の推進 県立学校における防災士の資格を有する教員の配置率	<p><b>事業目的</b>            災害時における県立学校の避難所開設時に、学校の避難所運営支援等の要として、防災訓練等における地域連携での橋渡し役など、学校・地域が連携した防災活動の実践力の向上を図るため、防災士の資格を有する教員を計画的に養成し、すべての県立学校に配置を進める。</p> <p><b>取組状況(H28年度分)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>40</td> <td>71</td> <td></td> <td>118.3%</td> <td>60</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:%)</p> <p><b>評価</b>            (成果)学校防災計画の実行では、指導的役割を担い、教職員の防災対応能力の向上を図り、学校が実施する地域との防災活動では学校の窓口としてコーディネイター役を務め地域の防災力の向上に寄与している。            (課題)人事異動により配置校の変更があることから、今後の防災士養成には、希望に加えて未配置校から候補者の選出を行う必要がある。さらに、地域防災推進員養成研修への参加者を教員から教職員にまで広げる必要がある。</p> <p><b>今後の取組方針</b>            引き続き、防災士取得に意欲のある教員を募集するとともに、募集時期・期間の検討や、未配置校からの選出を働きかける。防災士の資格を取得した教員のスキルアップのために、防災人材育成センター等と連携を図り、外部関係機関の実施する研修も有効に活用するとともに、各校が行っている取組事例について情報共有を図る連絡体制を整備する。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	-	-	40	71		118.3%	60	80
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
0	-	-	40	71		118.3%	60	80													

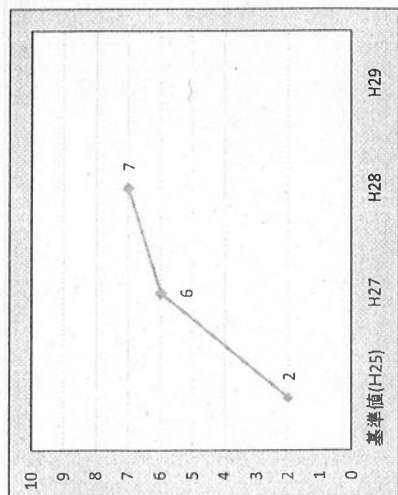
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
86	安全・安心なとくしまの学校づくり	登下校・部活動・体育授業時の安全確保 学校安全ボランティアの登録数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,271</td> <td>10,446</td> <td>13,215</td> <td>14,756</td> <td>14,352</td> <td></td> <td>102.5%</td> <td>14,000</td> <td>14,000</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	9,271	10,446	13,215	14,756	14,352		102.5%	14,000	14,000	子どもたちが安全・安心して教育が受けられるよう、学校や通学路の子どもの安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体と連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。  市町村にスクールガードリーダーの配置を協力依頼し、学校安全ボランティア（スクールガード）の養成に努め、県内の全小学校校区において学校安全ボランティア（スクールガード）が、登下校時の見守り活動を実施した。	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b>  <b>取組状況</b> (H28年度分) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,271</td> <td>10,446</td> <td>13,215</td> <td>14,756</td> <td>14,352</td> <td></td> <td>102.5%</td> <td>14,000</td> <td>14,000</td> </tr> </tbody> </table> <b>評価</b> (成果) スクールガードリーダー-連絡協議会を実施し、学校安全ボランティアの安全確保を図ることができた。 (課題) 小学校の統合及び休校により、学校安全ボランティアの増加が難しくなる。現状教を維持していくために、市町村に対してスクールガード養成講習会等の開催を依頼していく必要がある。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	9,271	10,446	13,215	14,756	14,352		102.5%	14,000	14,000
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																
9,271	10,446	13,215	14,756	14,352		102.5%	14,000	14,000																																
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																
9,271	10,446	13,215	14,756	14,352		102.5%	14,000	14,000																																
87	安全・安心なとくしまの学校づくり	登下校・部活動・体育授業時の安全確保 学校管理下において、熱中症の症状を呈して医療機関を受診した児童生徒数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td>30人以下</td> <td>30人以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	48	38	23	33	23			30人以下	30人以下	<b>事業目的</b> 熱中症の発生を抑制し、児童生徒の健康確保を図る。  <b>今後の取組方針</b> 熱中症の発生を抑制し、児童生徒の健康確保を図る。	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b>  <b>取組状況</b> (H28年度分) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td>30人以下</td> <td>30人以下</td> </tr> </tbody> </table> <b>評価</b> (成果) 学校教育活動中に、「熱中症」の症状を呈して、医療機関を受診した児童・生徒数は、平成28年度23名と減少している。また、児童・生徒に症状が発生した場合は、迅速に対応し適切な処置が行われている。 (課題) 今後も、継続して熱中症予防の研修会や救命講習を実施し、教職員や児童・生徒に登下校・部活動・体育授業時における、熱中症の予防対処や熱中症になった時の適切な処置について指導していく必要がある。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	48	38	23	33	23			30人以下	30人以下
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																
48	38	23	33	23			30人以下	30人以下																																
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																
48	38	23	33	23			30人以下	30人以下																																

推進項目	番号	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
安全・安心なとくしまの学校づくり	88	<b>教育相談体制の充実</b> スクールカウンセラーの職務に対する学校の評価 (満足度) 	<b>事業目的</b> 児童生徒のいじめや不登校等の問題行動に対応するため、スクールカウンセラーを、公立小中学校及び県立学校に配置し、相談活動の充実を図り生徒指導上の諸問題を解決することを目的としている。																		
			<b>取組状況 (H28年度分)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>94</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>100.0%</td> <td>95</td> <td>95以上</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	90	90	94	95	95	100.0%	95	95以上
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
-	90	90	94	95	95	100.0%	95	95以上													
			<b>評価</b> (成果) スクールカウンセラーの資質向上に関しては、年2回のスクールカウンセラー連絡協議会における研修及び臨床心理士会が隔月1回行っている研修会を県教育委員会も後押しをするとともに、スクールカウンセラーの自己評価制度を取り入れ、資質の向上につなげている。																		
			<b>今後の取組方針</b> (課題) スクールカウンセラーの人材確保が困難な状況である。また、県立学校への配置や派遣の拡充を推進する必要がある。																		
			<b>今後の取組方針</b> 今後とも、スクールカウンセラーの資質向上のため、徳島県臨床心理士会の協力のもと研修会を実施するとともに、スクールカウンセラーに助言・指導を行うスーパーバイザーを配置し資質の向上を図る。 県立学校の拠点校化、適応指導教室への配置拡充を図るとともに、スクールカウンセラーの常勤的な配置により教育相談の充実に取り組む。																		
安全・安心なとくしまの学校づくり	89	<b>教育相談体制の充実</b> スクールソーシャルワーカー配置数 	<b>事業目的</b> 児童生徒の問題行動のうち、学校だけでは解決が困難な事例に対応するため、より高度で専門的な知識を有する社会福祉士と精神保健福祉士をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校の要請に応じて福祉的視点から児童生徒の実態把握や適切な指導方法及び対応方法等について指導助言を行うことにより、問題の解決を図ることを目的とする。																		
			<b>取組状況 (H28年度分)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>107.1%</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	9	9	10	14	15	15	107.1%	14	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
9	9	10	14	15	15	107.1%	14	15													
			<b>評価</b> (成果) 公立小学校1校、中学校1校、高等学校延べ3校・特別支援学校延べ2校から要請を受け、問題行動を繰り返す児童生徒への対応について、環境の改善等、福祉的な視点から指導助言を行い、学校及び保護者の問題解決能力の向上を図ることができた。また、精神保健福祉士を新たに配置した。																		
			<b>今後の取組方針</b> (課題)各学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーの人材確保が困難な状況である。																		
			<b>今後の取組方針</b> スクールソーシャルワーカーを8地区(13市町教育委員会)に配置し、それぞれ所管する小中学校に対して、児童生徒や保護者への支援、関係機関との連携、働き掛け等ができる体制を整備する。また、福祉関係機関の協力のもと、スクールソーシャルワーカーの人材確保を図るとともに、資質向上のための研修会を実施する。																		

推進項目	実施・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
90	<p>新たな高校教育の創造 再編高校の開校</p> <p>担当課 教育創生課</p>	<p>事業目的 県内の生徒数が減少していく中、各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動等を実施し、活力と魅力ある教育活動を展開していくため、高校再編を推進する。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>1地域再編計画策定</td> <td>再編高校開校準備</td> <td>再編高校開校</td> <td>1地域再編計画策定・開校準備</td> <td>再編統合準備・開校準備</td> <td></td> <td></td> <td>再編統合準備</td> <td>再編統合校設置・開校準備</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>阿南市地域において、開校準備委員会により、新高校開校に向けた協議を進めた。また、三好市・東みよし町地域において、池田高校、辻高校、三好高校と教育委員会と教育推進委員会による再編統合推進委員会を設置し、平成29年度の再編統合に向けた準備を加速した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 阿南市地域の高校再編では、新高校開校に向けた準備を進めるとともに、新高校の校名を阿南光高校に決定した。また、三好市・東みよし町地域の再編統合の学則、学校運営等について決定した。</p> <p>(課題) 阿南工業高校、新野高校の再編統合による阿南光高校の開校のために、調整すべき課題を十分に検討する必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>引き続き、阿南市地域の再編統合による阿南光高校の開校に向けた準備を進めていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	1地域再編計画策定	再編高校開校準備	再編高校開校	1地域再編計画策定・開校準備	再編統合準備・開校準備			再編統合準備	再編統合校設置・開校準備
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)												
1地域再編計画策定	再編高校開校準備	再編高校開校	1地域再編計画策定・開校準備	再編統合準備・開校準備			再編統合準備	再編統合校設置・開校準備												
91	<p>新たな高校教育の創造 高校教育の在り方に関する報告書の作成、個別計画の策定・実施</p> <p>担当課 教育創生課</p>	<p>事業目的 少子化の進行に伴う学校の小規模化への対応など、中長期的な教育課題に対する調査・研究を行い、社会の変化に対応した魅力ある高校教育の創造に取り組む。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>報告書作成</td> <td>個別計画策定・実施</td> <td>個別計画策定・実施</td> <td>個別計画策定・実施</td> <td></td> <td></td> <td>個別計画策定・実施</td> <td>計画実施</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>(成果) 農工商教育の枠を超え、専門高校等が協働し、専門教育の新しい取組を従来の県央から、県南、県西へも広げることができた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 引き続き中長期的な教育課題に対する調査・研究を継続しながら、取組を始めている計画等を着実に推進していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>取組を始めている計画等を着実に推進していくとともに、時代や社会のニーズに応じた高校の魅力化・特色化、将来の生徒数減少への対応など、本県高校教育の在り方について検討を進める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	報告書作成	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施			個別計画策定・実施	計画実施
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)												
-	報告書作成	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施			個別計画策定・実施	計画実施												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
92	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	特色ある学校づくり 消費者教育の充実に向けた取組の推進	<p>近年、消費者事故・トラブルの内容は複雑化・多様化しており、成年齢引き下げに伴う若年者の消費者トラブルの増加が懸念されている。自立した消費者として合理的な意思決定を行うことができ、さらには、よりよい社会の発展のために積極的に参画することができる消費者力の育成を図る。</p> <p>発達段階に応じた消費者教育の推進を図るための「TOKUSHIMA消費者教育活性化事業」及び人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」の推進に向けて研究調査を行う「『エシカル消費』推進プロジェクト」などの事業に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 「TOKUSHIMA消費者教育活性化事業」 研究指定校：小学校1校、中学校1校、高校3校、「講演・出前授業」：小中高校51校、「『エシカル消費』推進プロジェクト」 研究指定校：高校1校 発達段階に応じた取組を推進するとともに、研究指定校の成果について、報告書を作成・配布するなど普及することができた。</p> <p>(課題) 成年齢引下げを見据えた消費者教育の充実や、人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」の推進に対する取組を充実・推進していく必要がある。</p> <p>「TOKUSHIMA消費者教育活性化事業」では、児童生徒の発達段階に応じた各学校段階での消費者教育を推進するため、教員研修の充実や各事業指定校の取組の普及・広報を引き続き推進するとともに、高等学校においては「エシカル消費」推進に対する取組を牽引する「リーディングスクール」「エシカルクラブ」を設置するなど、徳島県ならではの消費教育を推進する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	—	—	—	推進	推進	—	推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	—	—	—	推進	推進	—	推進	推進													
93	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	担当課 学校教育課 施策・成果指標 特色ある学校づくり 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数	<p>徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校が、校舎等を共有する新しい教育を展開するにあたり、両校の専門性を活かした視覚・聴覚障がい教育の充実や特別支援教育推進のための人材育成を図るとともに、両校が連携した特別支援学校のセンター的機能を発揮し、徳島ならではの視覚・聴覚障がい教育の推進を図る。</p> <p>子どもの課題を見え方、聞こえ方の両面からチェックするなど、両校が互いの専門性を発揮した教育相談を実施した。地域の学校等への相談支援回数(徳島視覚支援学校142件、徳島聴覚支援学校181件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>連携準備</td> <td>430</td> <td>360</td> <td>323</td> <td>400</td> <td>80.8%</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件)</p> <p>(成果) それぞれの学校での来校、出張相談事例において、視覚・聴覚両方の問題が見られた場合に、互いに情報交換や助言を行うなど、より個別のニーズに応じた教育相談が実現できた。また、在籍する盲聾児の指導における連携が図られるとともに、健康診断の際の両校の専門性を活かした検査が実施できた。</p> <p>(課題) 児童生徒数の減少に伴い、視覚及び聴覚障がいの特別支援学級在籍者が減少し、相談件数は全体的に減少傾向である。教員が、見え方、聞こえ方の両面から子どもの問題に気づくことが大切であり、そのための啓発活動を進める必要がある。</p> <p>教員研修や巡回相談活動を通して、見え方や聞こえ方の問題に気づくポイント等について教員の理解を促す取組を行い、特別支援学級だけでなく通常の学級の児童生徒についてもニーズに応じた対応が実施されるようにする。来校、訪問等で相談対応する事例についての情報交換を活発に行い、見え方、聞こえ方の両面から幅広くチェックできる体制を推進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	連携準備	430	360	323	400	80.8%	400	400
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	連携準備	430	360	323	400	80.8%	400	400													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
94	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	<p>きめ細かな指導体制の整備 35人を上限とする少人数学級編制</p>	<p>少人数学級編制を導入することにより、一人一人に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、児童・生徒の生き生きとした学校生活の実現を支援する。</p> <p>全ての小学校全学年及び中学校1年生を対象として35人学級を実施した。 (国の基準を上回って配置した人数) ○小学校2年生17校17人 ○小学校3年生16校16人 ○小学校4年生15校15人 ○小学校5年生16校16人 ○小学校6年生21校21人 ○小学校1年生15校25人 計100校110人 本年度は、中学校2年生の全ての少人数学級編制の対象校とし、3学年の少人数学級編制の対象校のうち、少人数学級を希望する学校を研究校に指定し、35人学級を実施した。(中学校2学年22校22人、中学校3学年17校17人)</p> <table border="1"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1～4年・中学校1年に導入</td> <td>小学校1～5年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td></td> <td></td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 小学校1年生から中学校1年生まで、連続した少人数学級編制を実施することで、基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図るきめ細やかな指導や、中学校生活へのスムーズな適応を図ることができた。</p> <p>評価 (課題) 中学校2・3年生を中心に、少人数学級編制の成果と課題を検証する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 今後とも、少人数学級編制の成果と課題を検証するとともに、ティームティーチングや習熟度別指導など少人数指導の効果的な活用を図りながら、きめ細やかで質の高い指導の充実を努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	小学校1～4年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入			小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
小学校1～4年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入			小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入													
95	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	<p>担当課 教職員課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>きめ細かな指導体制の整備 チエーンスクール及びパッケージスクールの実施地域数</p>	<p>学校や地域の人的・物的資源を相互活用することにより、小規模校の存続及び学校の活性化を図る。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>チエーンスクール(分散型小中一貫教育) 5地域 パッケージスクール(一体型小中一貫教育) 2地域</p> <table border="1"> <caption>(単位：地域)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>7</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 阿南市榎地区において、テレビ会議システムを引き続き運用。各地域において、小中9年間を見通したカリキュラムを作成し、運用した。教室に居ながらの交流学習や職員会議での活用を図ることにより、教育活動の充実を図るとともに、移動による諸課題の解決につながった。</p> <p>評価 (課題) 小・中学校の相互交流の時間や小中連携活動に係る教職員の打合せの時間の確保を図る</p> <p>今後の取組方針 平成29年度は、チエーンスクールの1地域追加指定し、分散型小中一貫教育の拡充を図るとともに、その成果の普及により実施地域数の更なる拡充を進める。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	2	-	-	6	7		100.0%	7	8
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
2	-	-	6	7		100.0%	7	8													



番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
96	私立学校の振興	<p>私立学校の健全運営と魅力ある学校づくり 私立学校教育の質の向上、教育の多様性の確保</p> <p>担当課 総務課</p>	<p>公教育の一翼を担う私立学校は、それぞれ建学の精神に基づく独自の教育を通じ県民に多様な教育サービスを提供しており、県民が安心して私立学校を選択できるよう、私立学校の経営の安定及び保護者負担の軽減を図る。また、私立学校の特色づくり、魅力アップ、子育て支援の充実について、積極的に努力する。</p> <p>私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減等を目的として、学校の設置者である学校法人に対する私立学校運営高専補助金や奨学支援金や奨学のための給付金を支給するとともに私立高等学校等授業料軽減事業補助金を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">—</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td></td> <td>支援</td> <td>支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 高等学校等奨学支援金を支給したことにより生徒の就学機会の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られた。また、補助事業の実施により、学校法人の運営及び学校設備の充実、教員の資質向上等教育条件の維持向上とともに、「輝く私学推進事業補助金」を通じて、私立高等学校等の固性的で特色ある活動や、私立幼稚園が実施している預かり保育等に対する補助を行うことにより、特色ある教育活動の充実が図られた。</p> <p>(課題) 今後も公私間格差是正を図る取組が必要である。</p> <p>引き続き、私立学校の振興と教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減、経営の健全性の向上を支援する。私立学校ならではの特色づくり、魅力アップ、預かり保育などの子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援する。</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—		支援	支援	支援	支援	支援		支援	支援
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
—		支援	支援	支援	支援	支援		支援	支援														
97	私立学校の振興	<p>私立高等学校間の連携・機能分担 公私立高等学校連絡協議会の開催</p> <p>担当課 総務課</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県教育の全体の向上に向けた施策や取組が最大の効果を発揮するために、公私立高等学校間の機能分担や連携を強化する。</p> <p>公私立高等学校連絡協議会等を開催し、公私立学校間での情報共有、意見交換を行う等、連携強化に努めた。また、公立高等学校の入試説明会において、私立高等学校の入試説明や取組を紹介した。</p> <p>・協議会 9月7日 ・第1回幹事会 8月9日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 9月に「公私立高等学校連絡協議会」を開催し、公立・私立の関係者が情報共有、意見交換を行い、公立・私立の関係者がそれぞれの現状や課題について協議することにより、意思疎通、相互理解が図られた。</p> <p>(課題) 公私立高等学校連絡協議会の開催前の、幹事会のあり方について調整が必要である。</p> <p>本県高校教育の一層の充実、振興を図るため、公私立高等学校連絡協議会等を開催し、公立学校・私立学校の関係者が公私間にある様々な問題について協議し、相互理解と連絡調整を図る。また、公私立学校間での機能分担、連携を強化するため、幹事会において公私連携推進策の検討を行い、連携強化の基盤整備を進めていく。</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—		推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
—		推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進														



番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																												
98	希望に導く教職員の育成	<p>優秀な教員の確保 県内外大学における教員採用に係る説明会</p> <p>担当課 教職員課</p>	<p><b>事業目的</b> 本県教育を担う教職員には、教職に対する強い使命感や高い倫理感はもとより、探求力や教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力、専門職としての高度な知識・技能、さらには、豊かな人間性や社会性等の総合的な人間力が求められており、できる限り多くの大学生に採用審査を受審してもらえよう説明会を開催する。</p> <p>中四国、近畿の大学を中心として、18校で教員採用に係る説明会を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：回)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成率(H28)</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">目標値(H28)</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) これまでの本県の採用審査において受審者及び合格者の多い大学での説明会実施に加え、受審者の少ない特定の教科・科目の受審を促すための説明会を実施することができた。</p> <p>(課題) 説明会参加者の多くが当該年度受審予定の4回生であり、今後の志願者数の継続的な確保のためにも、1～3回生の参加者が増えるよう、さらに改善を図る。また、特定の教科・科目の志願者確保は喫緊の課題であり、さらなる取組が必要である。</p> <p>引き続き、教員養成系の大学を中心に訪問しての説明会を開催するなど、積極的な広報活動を行い、優秀な人材の確保に努める。また、教員を目指す学生により早い段階からアプローチできるように大学等へも働きかけるとともに、教員養成系以外の大・学部等での説明会を実施する。</p> <p><b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b></p> <p>教職員のライフステージに合わせ、経験年数や役職等にに応じて実施する研修のほか、学校組織マネジメント等に関する研修や今日的な教育課題や教科指導等に対する知識技能の習得を目的とする研修等を実施し、教員の資質能力の向上を図る。</p> <p>成果指標に係る研修講座や研修内容を研修計画に位置づけ実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育 初任者研修…168名 教職5年次研修…185名</li> <li>・グローバル化 小中高英語パワーアップ講座…166名</li> <li>・ICT活用 初任者研修…175名 新規採用学校栄養職員研修…1名 10年経験者研修…97名</li> <li>幼稚園教諭10年経験者研修…12名 養護・栄養教諭10年経験者研修…8名</li> <li>ICT活用指導力向上研修(希望研修)…143名</li> </ul> <p>○合計 955名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>889</td> <td>972</td> <td>993</td> <td>955</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成率(H28)</td> <td>106.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">目標値(H28)</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 喫緊の課題である成果指標に係る研修講座について、受審者に対するアンケートをもとに、各職種・教科別に研修内容や実施方法を工夫し、より実践的で効果的な研修を実施することができた。</p> <p>(課題) 教員が日々の業務で様々な対応に追われる中においても自己研鑽に励み、学び続けるモチベーションを維持し、スキルアップを図ることができている研修体系を構築していく必要がある。</p> <p>時代の変化や自身のキャリアステージに応じて求められる資質能力を、生涯にわたって高めていくことができるよう、現在の研修体系を再構築し、「学び続ける教員」を支える研修を効果的・効果的に実施することにより、教員の資質の向上を図る。</p>	(単位：回)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	14	16	17	18	18	19	達成率(H28)					100.0%	目標値(H28)					18	(単位：人)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	—	889	972	993	955	900	達成率(H28)					106.1%	目標値(H28)					900
(単位：回)																																																															
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																																										
14	16	17	18	18	19																																																										
達成率(H28)					100.0%																																																										
目標値(H28)					18																																																										
(単位：人)																																																															
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																																																										
—	889	972	993	955	900																																																										
達成率(H28)					106.1%																																																										
目標値(H28)					900																																																										
99	希望に導く教職員の育成	<p>教員の資質能力向上 キャリア教育、グローバル化に対応した教育及びICTを活用した教育の推進を図るための研修への参加者数</p> <p>担当課 教職員課</p>	<p>(成果) 喫緊の課題である成果指標に係る研修講座について、受審者に対するアンケートをもとに、各職種・教科別に研修内容や実施方法を工夫し、より実践的で効果的な研修を実施することができた。</p> <p>(課題) 教員が日々の業務で様々な対応に追われる中においても自己研鑽に励み、学び続けるモチベーションを維持し、スキルアップを図ることができている研修体系を構築していく必要がある。</p> <p>時代の変化や自身のキャリアステージに応じて求められる資質能力を、生涯にわたって高めていくことができるよう、現在の研修体系を再構築し、「学び続ける教員」を支える研修を効果的・効果的に実施することにより、教員の資質の向上を図る。</p>																																																												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
100	希望に導く教職員の育成	教員の資質能力向上 教諭の「特別支援学校が対象とする障がい種に対応した免許状」の保有率 	<b>事業目的</b> 特別支援学校や小・中、高等学校の教諭等で、特別支援学校教諭免許状（一種、二種）の取得を希望する者に対して、文部科学省が認定する教職員の免許認定講習会を開催し、特別支援学校教諭一種又は二種免許状を取得させることにより、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図ることを目的とする。  <b>取組状況</b> (H28年度分) 平成28年度は、免許状の取得希望の多い知的障害領域の免許状取得に必要な講座を中心に徳島県教育委員会教育職員免許認定講習を6講座開講した。また、視覚障害領域の免許状保有率向上のため、独立行政法人特別支援教育総合研究所が向上のための受講案内を積極的に実施した。さらに、担当する学級の主となる障がい種に対応した免許状保有率向上のため、認定講習の講座改編を行い、平成29年度からの実施に向け、校長会や特別支援学校への訪問による説明会の実施により、管理職や教員への周知を行った。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72</td> <td>75</td> <td>76</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>97.5%</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <b>評価</b> (成果) 徳島県教育委員会教育職員免許認定講習を158名が受講し、独立行政法人特別支援教育総合研究所免許認定講習教育を3名が受講し、特別支援教育に関する教職員の専門性向上を図ることができた。また、各特別支援学校での説明会の開催により、免許状非保有者に免許状の取得方法及び認定講習受講の理解が得られた。 (課題) 現在の講習の開設状況では、免許状取得に複数年かかる。受講料が必要なことや、校務との優先順位がつけにくいことから、認定講習の受講が先延ばしになる傾向がある。また、視覚障害領域、聴覚障害領域については、講座を担当できる講師の確保が困難である。  <b>今後の取組方針</b> 認定講習の講座改編により7講座を開講し、最短1年で免許状が取得できるようにする。特別支援学校に勤務する免許状非保有者については認定講習を職務受講とするとともに、より多くの希望受講者に対応するため、定員を150名に増やす等の取組により、特別支援学校教諭免許状保有率の向上を図り、教員の専門性向上に取り組み、視覚障害領域、聴覚障害領域については、独立行政法人特別支援教育総合研究所免許認定講習を活用する。  <b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> これまでの取組を拡充させ、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を目指し、コンプライアンス推進室が講師を派遣して、各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図る。  <b>取組状況</b> (H28年度分) 1 推進員会議、各校長会等の各種会議において、講師派遣の広報に努めた。 2 平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のページ」の活用について広報するとともに、研修内容の基本である「信頼される学校・教職員へのコンスタンス（改訂版）」の啓発に努めた。 3 県立学校（20校）、市町村教育委員会主催の研修会（1）、小中学校（20校）、市立高等学校、郡市小学校教頭会議（1）、事務局・教育機関（6）へ講師を派遣し、研修を実施した。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>23</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>220.0%</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <b>評価</b> (成果) 各校（所属）の課題や実情に応じた研修内容を作成し、ポイントを絞った研修が実施できることに加え、直接各校の教職員と接してその声を聞くことができたため、大きな意義がある。また、講師派遣の周知も浸透しつつあり、校内研修において年間計画に複数回要請研修を位置づける学校も出てきた。実施後のアンケートでも、肯定的評価は98%を超えた。また、今後の業務において、「大変役立つ」との評価は66%を数えた。 (課題) 昨年度に続いて要請を受けた学校も多かったが、まだ未実施の学校も多いので、継続的な研修実施に加えて、新たな研修実施校の拡充が必要である。また、市町村教育委員会が主催する研修会実施の拡充が必要である。  <b>今後の取組方針</b> 新たな研修実施校を増やすために、年度当初に開催される「コンプライアンス推進員会議」において、より積極的に講師派遣を呼びかける。また、市町村教育委員会に働きかけ、県教育委員会と連携した研修の充実を努める。さらに、平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のページ」を随時更新し、効果的な広報に努めるとともに、要請を受けた学校の要望に応じた研修内容を工夫し、その充実を努める。	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	72	75	76	78	78	78	97.5%	80	80	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	9	23	29	33	44	44	220.0%	20	20
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
72	75	76	78	78	78	97.5%	80	80																															
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
9	23	29	33	44	44	220.0%	20	20																															
101	希望に導く教職員の育成	教員の資質能力向上 各県立学校・市町村教育委員会におけるコンプライアンス研修（要請）の実施回数 	<b>事業目的</b> これまでの取組を拡充させ、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を目指し、コンプライアンス推進室が講師を派遣して、各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図る。  <b>取組状況</b> (H28年度分) 1 推進員会議、各校長会等の各種会議において、講師派遣の広報に努めた。 2 平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のページ」の活用について広報するとともに、研修内容の基本である「信頼される学校・教職員へのコンスタンス（改訂版）」の啓発に努めた。 3 県立学校（20校）、市町村教育委員会主催の研修会（1）、小中学校（20校）、市立高等学校、郡市小学校教頭会議（1）、事務局・教育機関（6）へ講師を派遣し、研修を実施した。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>23</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>220.0%</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <b>評価</b> (成果) 各校（所属）の課題や実情に応じた研修内容を作成し、ポイントを絞った研修が実施できることに加え、直接各校の教職員と接してその声を聞くことができたため、大きな意義がある。また、講師派遣の周知も浸透しつつあり、校内研修において年間計画に複数回要請研修を位置づける学校も出てきた。実施後のアンケートでも、肯定的評価は98%を超えた。また、今後の業務において、「大変役立つ」との評価は66%を数えた。 (課題) 昨年度に続いて要請を受けた学校も多かったが、まだ未実施の学校も多いので、継続的な研修実施に加えて、新たな研修実施校の拡充が必要である。また、市町村教育委員会が主催する研修会実施の拡充が必要である。  <b>今後の取組方針</b> 新たな研修実施校を増やすために、年度当初に開催される「コンプライアンス推進員会議」において、より積極的に講師派遣を呼びかける。また、市町村教育委員会に働きかけ、県教育委員会と連携した研修の充実を努める。さらに、平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のページ」を随時更新し、効果的な広報に努めるとともに、要請を受けた学校の要望に応じた研修内容を工夫し、その充実を努める。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	9	23	29	33	44	44	220.0%	20	20																		
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
9	23	29	33	44	44	220.0%	20	20																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																														
102	希望に導く教職員の育成	メンタルヘルス・健康維持 精神科医室による相談事業、メンタルヘルスマネジメント セミナー、職場復帰支援事業等の実施	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>一次予防として、職場のメンタルヘルス対策に熟知した管理職を養成することで、職場単位でのメンタルヘルス対策の推進やメンタルヘルス不調者の早期発見・早期対応に努め、出前講座で教職員のメンタルヘルスに対する理解を促進する。また、二次予防として、専門相談員による相談事業により、教職員個人の悩み・不安等の軽減を図る。さらに、三次予防として、教職員職場復帰支援により、メンタルヘルス不調による病休から復帰した教員やその管理職への助言指導及び経過観察をすることで再発防止に努める。</p> <p>1 一次予防  <ul style="list-style-type: none"> <li>「メンタルヘルスマネジメント管理職者支援セミナー」は、新任教頭等を対象として3回実施し、104名が受講した。</li> <li>「出前講座」は希望校21校582名が受講した。</li> <li>「心の健康チェック事業」でストレスチェック及び所属毎の集団分析を実施し、教職員の88.2%が受検した。</li> </ul> </p> <p>2 二次予防  <ul style="list-style-type: none"> <li>「教職員相談事業」は、12名の専門相談員が相談を実施し、128件の相談に対応した。</li> <li>「教職員健康相談事業」は、福利厚生課保健師が実施し、総計37件（面接21件、電話16件、支援会議3件）の個別対応に努めた。</li> </ul> </p> <p>3 三次予防  <ul style="list-style-type: none"> <li>「教職員職場復帰支援事業」は、6名の対象者に対し、臨床心理士を所属校に派遣し面談等を実施した。</li> </ul> </p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>／</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) メンタルヘルス対策について一次予防から三次予防まで体系的に取り組んだ。 新たにストレスチェックを実施することで、一次予防としてのメンタルヘルスの気づきを促すことができた。</p> <p>(課題) ストレスチェックの結果を踏まえ、高ストレス者や所属単位の傾向等に対応したメンタルヘルス対策の充実を図る。</p> <p>ストレスチェックの実施により、教職員のメンタルヘルスの現状を把握し、各所属の管理監督者及び専門機関、共済組合等関係機関との連携のもと、実態に即したメンタルヘルス対策の充実に取り組みむことにより受検しやすい制度となるよう改善に努め、ストレスチェックの受検率向上を図る。また、ストレスや悩みを抱えた教職員が気軽に相談できるよう、多様な媒体により相談窓口等の周知を図る。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>糖尿病等生活習慣病対策の推進により、健康の保持増進及び医療費抑制を図り、教職員が安心して教育活動に専念し能力を十分発揮できるための健康支援とする。</p> <p>1 「定期健康診断」は全教職員が受診できよう各学校衛生管理者と連携実施し、人間ドックを含め98.6%が受診した。 また、特定健康診断の実施主体である共済組合へ検査データを提供することにより、特定保健指導の実施につなげた。 2 「教職員健康管理支援事業」では教職員に対して定期健康診断等の結果に応じた助言指導及び集団教育を実施し、特定保健指導の受診勧奨につなげた。 3 定期健康診断等の結果の統計を各衛生管理者に通知し、有所見率の傾向など生活習慣病予防に必要な情報を共有することにより、所属での啓発につなげた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>／</td> <td>生活習慣の改善 促進</td> <td>生活習慣の改善 促進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 定期健康診断等の受診率は高率であり、各教職員が自分の体の健康状態を把握するきっかけとなっている。また、健診結果に基づく事後指導の実施により、個人毎の生活習慣改善につなげられている。さらに、出前講座を実施することにより、職場ぐるみで取り組む生活習慣改善のきっかけとなった。</p> <p>(課題) 教職員個人の生活習慣改善につなげるためには、個別支援が不可欠であり、共済組合との協働により、個別の健康情報提供を行うとともに、積極的な受診勧奨により特定保健指導の実施率を向上させることが重要である。</p> <p>生活習慣病予防の出前講座等、「教職員健康管理支援事業」の更なる利用促進を図る。さらに、共済組合等関係機関と連携し、個人の健診結果に即した情報提供や特定保健指導等の個別指導の実施により、生活習慣改善への指導・啓発をすすめる。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	－	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	／	予防的取組・ 復帰支援促進	予防的取組・ 復帰支援促進	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	－	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	／	生活習慣の改善 促進	生活習慣の改善 促進
(単位：－)																																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																									
－	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	／	予防的取組・ 復帰支援促進	予防的取組・ 復帰支援促進																																									
(単位：－)																																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																									
－	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	／	生活習慣の改善 促進	生活習慣の改善 促進																																									
103	希望に導く教職員の育成	メンタルヘルス・健康維持 特定健康診断・特定保健指導への積極的な対応による 教職員の健康の保持増進	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>メンタルヘルス・健康維持 特定健康診断・特定保健指導への積極的な対応による 教職員の健康の保持増進</p> <p>希望に導く教職員の育成</p>																																														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	取組状況 (H28年度 分)	事業目的	取組状況 (H28年度 分)	評価	今後の 取組方針																	
104	教育機関の運営体制の充実	校務の情報化 県立学校への総務事務・学校支援システムの導入	校務の情報化により教職員の業務負担を軽減し、教職員が生徒と向き合う時間を増加させ、魅力ある学校づくりを推進する。 旅費システムとの連携を開始するとともに、学校支援システムにおいて教務日誌作成機能、行事予定作成機能等の機能追加を実施した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進(総務事務システムの導入)</td> <td>推進(学校支援システム)の導入</td> <td>推進(総務事務システム)の導入</td> <td>推進(総務事務システム)の導入</td> <td>推進(総務事務システム)の導入</td> <td>△</td> <td>推進(総務事務システムの連携機能購入)</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進(総務事務システムの導入)	推進(学校支援システム)の導入	推進(総務事務システム)の導入	推進(総務事務システム)の導入	推進(総務事務システム)の導入	△	推進(総務事務システムの連携機能購入)	推進	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針	<p>毎年度末に、「徳島県教育振興計画(第2期)」の次年度に向けた事業内容や達成目標等について検討を行い、計画の改善・見直しを実施することにより、本県教育行政の各種施策の効果的・効率的推進や組織運営の充実を図る。</p> <p>教育行政の点検・評価の結果を反映させるとともに、「徳島県教育振興計画(第2期)」策定後の社会状況の変化や新たなニーズに対応するという視点を取り入れて、計画の改善・見直しを実施した。</p>	<p>(成果) 旅費システムとの連携を開始するとともに、学校支援システムにおいて教務日誌作成機能、行事予定作成機能等の機能追加を実施することにより、効率的な校務処理に向けた取組を推進することができた。</p> <p>(課題) 学校支援システムの円滑な運用を推進するため、システムの機能改善が必要である。また、システムは平成26年度入学生から年度進行で導入しており、平成29年度においても総務事務システム及び学校支援システムの機能連携を含めたシステム運用及び利用に係る教職員への支援が必要である。</p> <p>学校支援システムにおいて、保健関係データ処理機能等の機能改善を実施し、教職員の業務負担の軽減を図るとともに、システム内の円滑な運用に取り組む。</p> <p>また、総務事務システム及び学校支援システムの機能連携を含め、システムの円滑な運用に取り組むとともに、教職員がシステム利用に係る支援の充実を図る。</p>
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																	
—	推進(総務事務システムの導入)	推進(学校支援システム)の導入	推進(総務事務システム)の導入	推進(総務事務システム)の導入	推進(総務事務システム)の導入	△	推進(総務事務システムの連携機能購入)	推進																	
105	教育機関の運営体制の充実	徳島県教育振興計画の進行管理 改善・見直しの実施	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針	<p>毎年度末に、「徳島県教育振興計画(第2期)」の4年目段階での進捗状況を確認することができた。また、そのことにより、適切に成果指標や目標値を見直すことができた。</p> <p>(課題) 見直しの結果を目標達成につなげるとともに、新規の施策の内容を確実に振興計画に取り込んでいく必要がある。</p>	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針	<p>毎年度末に、「徳島県教育振興計画(第2期)」の4年目段階での進捗状況を確認することができた。また、そのことにより、適切に成果指標や目標値を見直すことができた。</p> <p>(課題) 見直しの結果を目標達成につなげるとともに、新規の施策の内容を確実に振興計画に取り込んでいく必要がある。</p>	<p>(成果) 「徳島県教育振興計画(第2期)」の改善・見直し結果については、教育委員会に報告するとともに、ホームページで公表する。また、今後とも点検・評価の結果を受けて改善・見直しを実施し、各種施策の効果的な推進を図っていく。</p>																		

番号	進 項 目	施策・成果指標 徳島県教育振興計画の進行管理 点検・評価委員会の開催	事業目的と平成28年度の取組状況・評価、今後の取組方針																							
106	教育機関の運営体制の充実		<p>外部有識者委員からなる徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、教育振興計画の進捗状況について、点検・評価を実施し、県議会に報告することにより、徳島県教育振興計画を着実に実施する。</p> <p>8月10日に徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、点検・評価委員からご意見・ご助言をいただいた。その結果に関する報告書を作成し、県議会に提出するとともに、県のホームページを通じて公表した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 平成28年度は「徳島県教育振興計画(第2期)」に基づき施策についての3回目の点検・評価委員会であったが、グローバル教育、特別支援教育、キャリア教育などについて有意義な意見を頂くことができ、施策を実施する上での指針とすることができた。</p> <p>(課題) 点検・評価委員の意見をさらに伺うために、会議の進め方等に工夫が必要である。</p> <p>点検・評価委員の様々な意見を今まで以上に伺うことができるように会議の進め方や参加者等、点検・評価委員会のあり方を検討する。そして、会議で頂いた意見を「徳島県教育振興計画(第3期)」の策定に適切につなげていく。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	一	実施	実施	実施	実施			実施	実施
(単位：－)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
一	実施	実施	実施	実施			実施	実施																		
		担当課 教育政策課																								

